

第12回木更津市立小中学校適正規模等審議会会議録

○開催日時：平成23年2月7日（月）

午後1時30分から午後2時25分まで

○開催場所：木更津市役所6階会議室

○出席者氏名

審議会委員：佐伯康子、内田慎一郎、川名和夫、青柳敬子、石井徳亮、坂井麻貴子、豊田雅之、池田利一、金子邦夫、山口嘉男、加藤淳、石渡宏

教育委員会：初谷教育長、鶴岡教育部長、石井教育部次長、
（教育総務課）宮澤副課長、齊藤副主幹
（事務局 学校教育課）高澤参事、浪久副課長、武田主幹、
安見主査、鶴岡主査

○議題等及び公開非公開の別

議事 (1)最終答申（案）について
(2)答申について

1 開 会（佐伯会長）

ただ今から第12回木更津市立小中学校適正規模等審議会を開催します。

2 会長あいさつ

本日は第12回目の審議会となります。一昨年の3月に、木更津市教育委員会から木更津市立小学校及び中学校の適正規模及び本市域における適正配置のあり方に関する事項について諮問を受け、昨年2月に中間答申をして、今日いよいよ最終答申をすることになります。2年をかけて私たちが審議してきた結果の集大成として教育委員会に答申しますので、よろしく申し上げます。

3 議 事

佐伯会長

それでは本日の議題に入ります。議題1、最終案についてです。事前に郵送させていただきました答申案ですが、前回の会議での皆さんのご意見を反映させて、修正を加えました。修正部分には網かけをしております。修正内容について、何かご意見がありましたらお願いします。また、修正内容のほかにもご意見がありましたらお願いします。

教育部長

38ページの「看過できません」という言葉が適切かどうかという点で、どうでしょうか。好ましくない状況について使われる言葉ではないかと。

石渡委員

国語の立場から言いますと、看過できないというのは見過ごせないということで、その前の部分を強調する使い方をしますので、これで間違

いではないと思います。

初谷教育長 辞書によれば、看過とは見過ごすということ、文例は否定的な使い方が載っています。

佐伯会長 では、どのように修正しましょうか。

石渡委員 「可能性があります」としてはどうでしょうか。

佐伯会長 そうですね。それではこの部分は、「可能性があります」としたいと思います。

他に、何かご意見ありますか。

－委員意見なし－

では、最終答申案についての審議は以上とします。ここで休憩として、答申案を事務局で修正した後に答申に移りたいと思います。

《 休 憩 》

佐伯会長 それでは、会議を再開して、答申を行います。

ただ今から、木更津市教育委員会、初谷教育長へ答申します。

《 答 申 》

4 その他

佐伯会長 次にその他ですが、この答申を受けて、教育委員会はこれからどのように学校の適正配置などを進めていくのか、気になるところですので、事務局説明をお願いします。

浪久副課長 まず、いただきました答申の周知についてですが、答申の写しを市議会をはじめ市内小中学校、市役所関係各部課等へ配付します。

次に、今後の予定ですが、答申の内容を受けて、木更津市立小中学校適正規模等庁内検討委員会において、教育委員会における基本方針案を策定し、その後意見公募制度、いわゆるパブリックコメント制度により基本方針案について広く市民の皆さんに公表し、ご意見をいただいたうえで基本方針を策定します。この基本方針に基づき、実施計画を策定するといった予定です。

石井委員 この答申は、ホームページに掲載されると思いますが、いつ頃から見られますか。関心の高いことですので。

浪久副課長 2月10日の教育委員会議終了後にアップロードする予定です。

石井委員 分かりました。

佐伯会長 本日の答申をもちまして、私たち委員は役目を終えましたので、最後に皆さんから一言、この2年間の感想をいただきたいと思います。

内田委員 2年間で、8回の予定が12回開催ということで、非常に充実した、密度の濃い会議ができたと思います。当初は、適正規模という言葉自体

あまり聞いたことがなく、またどの程度我々が関わっていったらよいだろうかと考えながら進みました。前半の部分については、比較的規模の大きな学校ということで審議は割合順調だったように感じましたが、今年度は小規模校の審議になり、傍聴に議員の先生方等が見えたりすることもある、地域に対する熱意も感じました。統廃合にすべきではないかとか、厳しい議論を聞いて、心を痛めたかと思いますが、やはり根底にあるのは、教育を受ける子どもたちがどういった規模の学校に通わせるのがよいのか、そのことを一番に考えて審議に当たったつもりです。自分なりに充実した2年間でした。

川名委員 学校というのは地域の中心的存在だと思っています。ですから、統廃合というのは地域そのものに影響すると思いますけれども、今の状況では致し方ないのかなと思う面もあり、複雑な心境でいろいろと考えてきました。これから適正化を進めるなかで、地域が、まちが、いかに活性化していけるかということを含めて、工夫していただきたいと思えます。

青柳委員 戦後の何もかもが上り調子だった時代からみて、今は色々な面で下がっている状況ですので、こういう適正規模の話が出てきたのかなと思います。忘れてはいけないことは、学校教育の大事さだと思います。子どもたちを知識豊かな人間に育てるために、学校教育をますます充実させていかなければならない、ぶれない考えでこの会に臨まなければと思って一回一回と一生懸命携わってきたつもりです。これから先も注目していきたいと思えます。

石井委員 この2年間、審議会に参加して、子どもたちや学校を見る方向が増えたと感じています。非常にありがたい経験で、プラスはあってもマイナスはなかったと思っています。今後も、学校に携わるときには、この審議会での経験を生かしていきたいと思えます。

坂井委員 私はここで何の役に立てるのかなと思いながらやってきた2年間です。学校のことには、色々な問題に、色々な心遣いをしながら、大勢の人が関わっているのだなということを感じました。親が手を出せない、口を出せない部分を、地域の方が助けてくれるということ、人との繋がりが大事だということを感じました。

豊田委員 私は畑沢地区で以前学区の変更を経験しました。この審議会では更に統廃合という、子どもたちにも保護者にも、地域にとっても大問題であることを考えるということで、より大きな視野を持つことの意義を感じました。

石渡委員 適正規模適正配置の中身が今後問題になってくると思えます。現代の情勢に合った教育のなかで、一斉指導から、個別指導へというチャンスが巡ってきたのではないかと思います。多人数と少人数を組み合わせ合わせた教育という取り組みをしている宮崎県五ヶ瀬町の記事をお配りしましたので、今後の参考にしていただけたらと思えます。

それから、適正配置に向けて移転等をするときには、学校名にも配慮が必要だと思いますので、お願いしたいと思います。

加藤委員

この難しい審議会を導きいただきました佐伯会長、ありがとうございました。私は公募という立場でこの会に臨みましたので、果たして市民の声をどれだけ申し述べるのができたかと思うと反省すべきところもありますが、委員の一人として発言できて、良かったと思っています。

この小中学校の適正規模の問題は、これからの日本の縮図のような面があるかと思っています。少子化が進み、財政的に厳しいなかですが、よりよい学校教育を願いたいと思います。

金子委員

この審議会に参加させていただいて、ありがとうございました。

どちらかというと、日頃は子どものこと、教育のことを忘れがちでしたが、木更津市の教育、学校の環境や効果的な学習など、委員の皆さんが非常によく考えていらして大変刺激を受けました。

今は公民館へと移りつつありますが、これまで地域文化を担ってきたのは小学校ではないかと思っています。先日地域で凧揚げ大会をしようということで、公民館で凧作りをしたのですが、会場に小学校を使ったら子どもたちの集まり方が例年の3倍くらいに増えました。子どもたちにとっては、小学校はかけがえのないところなのだと思います。小学校と公民館の両者は地域文化を担っていく中心だろうと思います。子どもたちをこれからも大事にしていくということでの答申ですので、役立てていただければと思います。

池田委員

学校見学に参加したとき、学校によって環境がものすごく違うことを感じました。学校は子どもたちにすれば本当に大事なところだと思いますので、環境の違いが大人になってどう影響するのだろうと考えます。

恵まれた学校もありますし、そうでない学校もあるということはどうしていったらよいかということも、これから考えていってもらいたいと思います。

山口委員

副会長という大役を仰せつかりましたが、今回こうして本答申ができて心より喜んでおります。審議会の皆様には、豊かな経験と高い識見から様々な意見をいただいて、それをリードする佐伯会長は、卓越した議事の運営で、深く掘り下げた審議の中でこの答申ができたものと考えています。この答申が有効に活用されまして、教育環境がさらに充実をして、学校教育に一層発展することを期待しています。

答申は、4校の統廃合や新設など、ハードな内容も含んでいまして、大変難しい面もあるのではないかと思います。子どもたちの人間形成の大きな力になってくれればと思います。

最後に、この審議会を裏から支えてくれた事務局に、感謝します。

5 教育長あいさつ

今日は最終回ということでしたが、無事答申をいただきまして、ありがとうございます。

足かけ3年の審議では、当初の予定を上回る会議で、暑い中現地の視察等もしていただき、難儀な諮問に対して真摯に密度の濃いご審議をいただきまして、厚くお礼を申し上げます。

委員の方々の長いご労苦には、お礼の言葉が尽くせません。

ただ今の各委員さん方のご感想も胸に染み入り、一つ二つ事務局に対するお叱りも覚悟しなければと思っていましたのに、いたわりの言葉をいただき、また激励もいただきました。先ほど事務局から申し上げましたように、教育委員会、市としての方針も定めて実行していかなければなりません。いただいた答申をもとに、果敢に先へ歩んでいきたいと考えています。ありがとうございました。

6 閉 会（佐伯会長）

2年間、本当にお疲れさまでございました。

以上をもちまして、第12回木更津市立小中学校適正規模等審議会を閉会いたします。

以 上

上記会議録を証するため下記署名する。

平成23年2月8日

木更津市立小中学校適正規模等審議会会長 《会長署名》